

海外派遣プログラム月間報告書

(2018/8/14~9/30)

ここタンペレに来て、1か月半がたちました。到着したころには20度近くあった気温は、この2週間ほどで平均7度ほどになり、早朝や夜間はかなり冷え込みます。洋服の移行に慌てる毎日です。

学習

授業は聞き取るのに時間がかかるため、全てを理解するのが困難です。そのため、授業前にMoodleにアップされているスライドに目を通し、授業中は、先生の言い回しをできるだけメモし、授業後の復習に、時間をかけ、理解するようにしています。日本語の授業よりも時間がかかりますが、予習復習の過程で、授業内容とともに、英語に触れられるため、頑張った分価値があるように思います。このルーティーンで、英語で学ぶ力を身に付け、より深い理解ができるよう、頑張っていきたいです。タンペレには3つの大学があり、来年から一つの大学へ統合されるようで、他大の授業を履修することが可能です。私も、TUTとUTA、2つの大学で学習しています。以下、私が履修している授業の一部を紹介します。

・Negotiating & Designing Sustainable Change@タンペレ工科大学 (TUT)

→建築学科に属する授業で、都市開発を通して行われる、顧客との交渉法を学びます。交渉実践がある日は、ペアになり、企業側と顧客側、それぞれの立場の台本が与えられ、妥協点を見つけて契約を結ぶ練習をします。英語力に不安は尽きないですが、ビジネスに近いシチュエーションで、相手の心を動かす話し方を考えるのは、とてもためになると感じました。

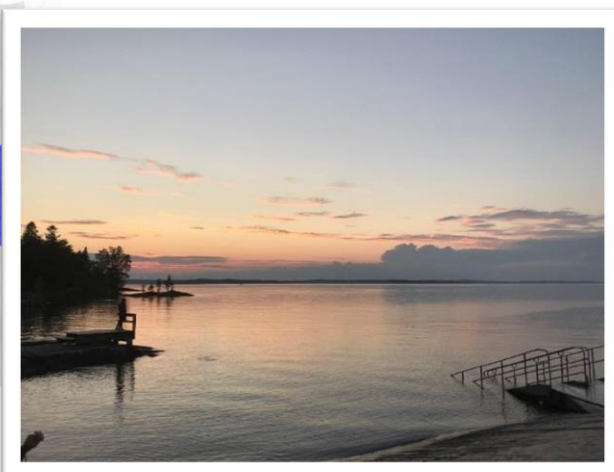
・Service Marketing@タンペレ大学 (UTA)

→顧客の心理プロセスを理解し、売れるサービスは何かを学びます。この授業では、Assignmentという、授業外での活動があります。チームをつくり、実際の店頭で足を運び、授業で学んだ内容に基づいて、その店にどのような工夫、改善点があるのか探り、スライドにまとめました。チームをつくるころから、Google slideで共有して一つのスライドが完成するところまで、日本でも大変だと感じそうなのに、英語が加わり、とても刺激的でした。オンラインチャットで、スライドについて話していることを理解するのがやっとで、他のメンバーより、作業が遅れていることに気付かなかったことがあり、少しヒヤッとすることもありました。Speakingももちろんですが、typing、writing、readingなど、学ぶことは想像以上にたくさんあります。

初めに履修を考えていた授業が、とれなくなってしまったため、今期は履修数がかなり少なくなっていました。履修を組む際は、受け入れを断られてしまう可能性を考慮し、多めにとって、あとからキャンセルすることをお勧めします。履修数が少ないながらも、論文を読む、レポートを書く、ディスカッションタスクの準備、上記のような Assignment など、やることはたくさんあります。与えられた学びに、全力を尽くせるよう、取り組んでいきたいです。

文化

フィンランドの伝統文化として、サウナがあります。日本でいう温泉のような感覚です。公共サウナには湖が隣接していることが多く、熱いサウナに入った後に、冷たい湖で泳ぐ、というのを繰り返すのが、フィンランド式のようなようです。先日、私もこのサウナを体験してきました。夕日が沈み、空の色が絶妙なか、湖で泳ぐのは至福の時、美しい自然に感動しました。(以下の写真)



その他

到着して、しばらくの間は、慣れた土地を離れ、頼れる友人もおらず、寂しくなる時がありました。地元を離れて千葉大学に来た身でしたが、その時は全くホームシックになることはなかったので、こんな気持ちになることに驚きました。しかし、自分の時間が増えたことで、どんなことで自分が辛くなるのか、新たに発見することができたり、自分から人に声をかけたりと、いろいろな面で強くなれるチャンスです。寂しさはデメリットだけでなく、日本ではできない、貴重な経験をもたらしてくれる大きなメリットだと思います。留学中に起こる全ての経験を、ポジティブに捉え、自分の糧にしていきたいです。